

令和元年度 農山漁村振興交付金(農泊推進対策)事業実施主体 評価一覧

【農泊推進対策(農泊地域高度化促進事業を除く)】 51件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階					評価	評 価 コ メ ン ト
				H29	H30	R1	R2	R3		
東北農政局	青森県	弘前市	弘前里山ツーリズム		●	■			A	取組状況・実績・体制全てで目標を達成している。今後はこの事業により弘前市全体に農泊が広く普及し、交流力の強化につながるよう更なる発展に期待したい。
東北農政局	青森県	黒石市	青森県黒石田舎暮らし協議会		●	■			A	国内外事業者に対する営業等の取組や、協議会構成員同士の協力体制は評価できる。特に蔵を改修した宿泊施設の開業やその他にも宿泊に関する様々な取り組みにより、目標には届かなかったものの地域の売上高や宿泊者数が劇的に増加したことは大きく評価できる。実力をもった地域として、今後は更なる実績上積み期待したい。
東北農政局	青森県	むつ市	下北ジオパーク推進協議会		●	■			A	取組が全て計画通りに実施、実施体制も協力機関と連携を強化していることを考慮し、総合的評価をAとした。取組を継続し展開していくためには、地域内のさまざまな方を巻き込み、内容を共有することが大切と考える。地域体験の取組が縮小になったことの解決を図られたい。
東北農政局	青森県	つがる市	津軽の食文化推進協議会			●	□		A	高齢農家が多く農泊の実践者がいない中でよそから移り住んだ若者が中心となり農泊などの切り盛りを行い、地域における資源などについて住民自体が新たな方向から見直してみる機会となったことは評価できるだろう。その結果、取組状況・実績・体制全てで目標を達成しており、次の展開に期待できる。
東北農政局	青森県	平川市	青森県自然体験活動ネットワーク推進協議会			●	□		B	2月下旬～3月中旬の津軽の冬を体験させるモニターツアーがコロナウイルスの影響により中止、プロモーション活動の変更を余儀なくされたが、取組・実績・体制はおおむね評価できる。また当初は何をして良いのかわからなかった地元の参加者の意識が変わり地域の資源について注目するようになったことは今回の大きな成果であると言えるだろう。令和2年度は、できる範囲で次の段階への準備をされること期待したい。
東北農政局	青森県	七戸町	七戸町「南部の馬文化」活用協議会		●	■ ★		◇	A	令和元年度の事業実績が好調であり総合評価はA評価とした。本事業を取り組む以前との比較において、大いに伸張していることからもうかがえる。施設整備事業評価は令和3年度実績によるが、そのときの評価が最終的な評価となるので、引き続き取組みに期待したい。
東北農政局	青森県	田子町	田子町「環十和田湖Gateway構想」推進協議会			●	□		A	令和元年度は、目標として掲げられたことについて取組状況や体制作りなどでA評価としたが、取組の実質的な開始は令和2年度からである。地元の取組への認識や意欲・機運といったものが醸成され、インバウンド対応イベントの実施により、売上、宿泊の実績も上がっている。2年目の広域周遊型観光の推進のため、遊休施設を活用しての施設整備事業等、本格的な取組に期待したい。

注1:「事業実施段階」の凡例

ソフト対策 ○・・交付対象年度(計画) ●・・交付対象年度(実施済) □・・目標年度(計画) ■・・目標年度(実施済)

ハード対策 ☆・・交付対象年度(計画) ★・・交付対象年度(実施済) ◇・・目標年度(計画) ◆・・目標年度(実施済)

注2:「評価」の区分: A・・優良 B・・良好 C・・低調

令和元年度 農山漁村振興交付金(農泊推進対策)事業実施主体 評価一覧

【農泊推進対策(農泊地域高度化促進事業を除く)】 51件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階					評価	評価コメント
				H29	H30	R1	R2	R3		
東北農政局	岩手県	久慈市	山形町農泊推進振興協議会		●	■			A	取組状況・実績・体制全てA評価とした。今回行われた様々な実験的な取り組みや新たに作り上げられたネットワークを生かしリピーターを増やしていくとともに、街の見所をしっかりと伝えることのできる農泊などの定着を図って今後の発展を期待したい。
東北農政局	岩手県	一関市	いちのせきニューツーリズム協議会		●	■			B	総合でB評価ではあるが、2年の実施期間において売り上げと宿泊数の実績が目標値に到達していない。関係者が事業内容を精査し課題を共有、解決を図ること、さらに、コロナウイルス感染症を踏まえたインバウンド受入体制を再構築して今後の取り組みを推進していくことに期待する。
東北農政局	岩手県	陸前高田市	特定非営利活動法人SET		●	■			A	教育旅行受入業務の急拡大により忙殺され、域内の観光DMO組織との連携が十分とはいかなかったことを除けば、農泊などの旅行者受入れの整備とその実績としてはほぼ目標を達していると考え。今後の展開に十分な実力を保持しつつ、コロナウイルス感染症を踏まえた組織体制を構築して今後の取り組みを推進していくことに期待する。
東北農政局	岩手県	八幡平市	八幡平ファームステイ協議会		●	■			A	今年度の実績としては、2月からの書き入れ時にコロナウイルス感染症の影響もあって宿泊者数は若干伸びなかったが、昨年度より売上高、宿泊者数ともに大幅に伸びており、取り組み内容や実施体制については着実に目標を達成していることが分かる。令和2年度以降についても、進むべき方向については既に計画立てられていて是非ともこの新型コロナ時代を乗り切って新しい展開を迎えることに期待をしたい。
東北農政局	岩手県	奥州市	NPO法人天遊塾		●	■			A	2度にわたる台風とコロナウイルス感染症の影響により売り上げと宿泊数は伸びなかったが、取組内容・実施体制も含めそれ以外はおおむね達成している。今後の展開のために、関係者が課題を共有し、精査することが大事と考える。今後の取組に期待したい。
東北農政局	岩手県	岩手町	アウローラJ5			●	□		A	1年目の取り組みとしては宿泊者数等に課題が残った。関係者が課題を共有し、精査することが大事と考える。地域資源の発掘、磨き上げを行い、2年目の取り組みに期待したい。

注1:「事業実施段階」の凡例

ソフト対策 ○・・・交付対象年度(計画) ●・・・交付対象年度(実施済) □・・・目標年度(計画) ■・・・目標年度(実施済)

ハード対策 ☆・・・交付対象年度(計画) ★・・・交付対象年度(実施済) ◇・・・目標年度(計画) ◆・・・目標年度(実施済)

注2:「評価」の区分: A・・・優良 B・・・良好 C・・・低調

令和元年度 農山漁村振興交付金(農泊推進対策)事業実施主体 評価一覧

【農泊推進対策(農泊地域高度化促進事業を除く)】 51件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階					評価	評 価 コ メ ン ト
				H29	H30	R1	R2	R3		
東北農政局	宮城県	仙台市	秋保ファームツーリズム推進協議会		●	■			A	おおむね目標は達成しているが、体験メニューの開発や受入体制を整備し、コロナウイルス感染症対策とGOTOトラベル等の支援施策の実施を踏まえて更なる経営の高度化に期待したい。
東北農政局	宮城県	石巻市	石巻みらい農泊推進協議会			●	□		A	1年目の取組として宿泊実績が若干低調であった。本事業を継続し、展開するためには協働する人や団体を増やしていくことが必要ではないかと考える。地域に農泊が広く波及し、交流力の強化につながるよう、令和2年度の取り組みを通じて更なる発展に期待したい。
東北農政局	宮城県	石巻市	牡鹿半島浜泊推進協議会		●	■			A	取組状況及び体制をA評価とした。台風19号の湛水被害及び集落のキャパシティを超えたオーバーツーリズムに対する調整を行ったことを踏まえればおおむね良好な実績と考える。事業を継続、展開するためにも、関係者が課題を共有、精査することが大切。今後の更なる発展に期待したい。
東北農政局	宮城県	石巻市	石巻地域農漁泊推進協議会		●	■			A	取組状況及び体制をA評価とした。平成30年と比べると状況が大いに前進しているとわかる。台風19号の湛水被害及びコロナウイルス感染症の影響(バス路線延伸の延期などの外部要因を含む)などを考慮すれば、おおむね良好な実績と判断できる。今後の更なる発展に期待したい。
東北農政局	宮城県	気仙沼市	気仙沼ヘルスツーリズム協議会			●	□		A	目標はすべて達成されている。食・農・暮らしを体系化、地域回遊ルートの構築・商品化、地域体験を受け入れる人材育成についても積極的に行っている様子が窺える。地域に農泊が広く波及し、交流力の強化につながるよう、令和2年度も継続して取り組み、さらなる発展に期待したい。
東北農政局	宮城県	登米市	農泊ネットワーク東和		●	■			A	おおむね目標は達成されているが、今後、農泊の取り組みを通じて農山漁村の振興に寄与していける人材の育成を望みたい。改めて地域資源の発掘、磨き上げなどを行い、農泊事業の更なる発展に期待したい。
東北農政局	宮城県	栗原市	栗原市農泊推進協議会		●	■			A	取組状況・実績・体制全てA評価であり、地域の売上高や宿泊者数も伸びている。豊富な体験型コンテンツ開発と事業実施体制の整備が継続される見込み。インバウンドや日帰りだけではなく宿泊を伴う旅行者への拡充など地域農泊の持続的な発展に期待したい。
東北農政局	宮城県	大崎市	鳴子温泉もりたびの会		●	■			A	おおむね目標は達成しているが、取組を継続し、より進めていくためには地域内の様々な方を巻き込むことが大事と考える。この事業を通じて地域内の交流力を高めること、そして、売り上げ・宿泊等の実績の更なる上積みを目指す。
東北農政局	宮城県	蔵王町	蔵王農泊振興協議会		●	■			A	目標達成率がすべて達成されており、コロナウイルス感染症拡大の影響も自力で乗り切り実績を残している。今後、地域に農泊が広く波及し、交流力が強化につながるよう事業の発展に期待したい。

注1:「事業実施段階」の凡例

ソフト対策 ○・・交付対象年度(計画) ●・・交付対象年度(実施済) □・・目標年度(計画) ■・・目標年度(実施済)

ハード対策 ☆・・交付対象年度(計画) ★・・交付対象年度(実施済) ◇・・目標年度(計画) ◆・・目標年度(実施済)

注2:「評価」の区分: A・・優良 B・・良好 C・・低調

令和元年度 農山漁村振興交付金(農泊推進対策)事業実施主体 評価一覧

【農泊推進対策(農泊地域高度化促進事業を除く)】 51件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階					評価	評 価 コ メ ン ト
				H29	H30	R1	R2	R3		
東北農政局	宮城県	七ヶ宿町	株式会社七ヶ宿くらし研究所			●	□		A	過去に例のない暖冬により町の資源でもある雪を活用する体験会を中止したが、秋に実施した各種体験プログラムの提供が良好であったため総合的にはA評価とした。改めて地域資源の発掘、磨き上げ等を行って、今後の更なる発展に期待したい。
東北農政局	宮城県	柴田町	柴田町里山ビジネス振興協議会			●	□		A	里山体験ツーリズムを中心とした地域の仕事おこしとしての取組が評価できる。特に電動アシストクロスバイク等の設置で宿泊者の滞在時間を増やす工夫は面白い。また外国人宿泊客数の多さも特筆できるだろう。新型コロナ感染症の影響もあってどのような成果になるかは不明であるが、しかしながら令和元年度に得た成果により取組みの方向性について理解できたことと考える。令和2年度は郷土料理販売等出来る範囲で売上実績を上げることによる、今後の展開に期待したい。
東北農政局	宮城県	川崎町	みちのく川崎里山ツーリズム協議会			●	□		A	取組状況・実績・体制全てA評価。地域の売上高や延べ宿泊者数がほぼ例年水準の目標であったところから考えると来々への準備期間として今年度を位置づけていたと思料。体験プログラム開発など一部達成できていなかったとはいえ、その意味では1年目の取組みとしては評価できる。令和2年度以降の取組みにより農山漁村の活性化を支える取組みとなることを期待する。
東北農政局	宮城県	丸森町	株式会社GM7		●	■			A	台風19号による被災を受けながらも計画に基づきしっかり取組みを行っている。取組状況、事業実績、実施体制の評価はすべてAとした。今後は課題を克服し、この事業により丸森町全体に農泊が広く波及し交流力の強化につながるよう更なる発展に期待したい。
東北農政局	宮城県	亘理町	亘理町「里と海をつなぐフェニックスプラン」推進協議会			●	□		A	総合でA評価ではあるが、令和元年度の2次公募での採択であり、実施期間が短い中で工夫して取組を進めた様子が伺える。事業を展開するうえで、改めて豊富な地域資源を見直し、磨き上げを行うことも必要と考える。取組状況が実施体制はA評価であることから、令和2年度の取組みを注視していきたい。
東北農政局	宮城県	松島町	松島手樽を元気にする会			●	□ ☆		A	過不足はあるものの、1年目の取組みとしては評価できるものである。とくに、地域には優れたステークホルダーが既に存在しているが、その連携する手法がこれまでなかったところで今回の協議会の設立に至ったところから、令和2年度の施設整備事業の実施後の成果に期待したい。
東北農政局	宮城県	七ヶ浜町	七ヶ浜農泊推進協議会			●	□		B	取組状況・実績・体制全てB評価。主取組である高収益西洋野菜ルパープの導入、マリンスポーツ体験コンテンツ作成の取組、農泊の実施で多くの成果が得られない状況にある。取組内容がやや拡散しており、その点で組織作りが今後の発展にとって肝要だと思料。とりわけ地元の農家や漁家、あるいは組織との連携があるとより推進が可能になると考えられる。2年目の取組に期待したい。

注1:「事業実施段階」の凡例

ソフト対策 ○・・交付対象年度(計画) ●・・交付対象年度(実施済) □・・目標年度(計画) ■・・目標年度(実施済)

ハード対策 ☆・・交付対象年度(計画) ★・・交付対象年度(実施済) ◇・・目標年度(計画) ◆・・目標年度(実施済)

注2:「評価」の区分: A・・優良 B・・良好 C・・低調

令和元年度 農山漁村振興交付金(農泊推進対策)事業実施主体 評価一覧

【農泊推進対策(農泊地域高度化促進事業を除く)】 51件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階					評価	評 価 コ メ ン ト
				H29	H30	R1	R2	R3		
東北農政局	秋田県	湯沢市	岩崎発酵するまちづくり協議会		●	■ ★		◇	A	総合でA評価ではあるが、実施の2年間をコンテンツ及び施設の整備に費やすことが目標とされ、それが実行されたため、令和元年度まで地域の売上高、宿泊者数いずれも実績は挙がっていない。 また、その結果、取組状況と実施体制も実績なしでA評価となっているものの、実質的には評価なしと考える。 令和3年度の施設整備事業評価時点で実績が挙がってくるので、これが3年間の実際の評価となると考える。
東北農政局	秋田県	潟上市	潟上市観光まちづくり協議会			●	□		A	地域周辺古民家の活用計画策定と実現に向けた体制の構築は計画どおりに進められており、冬期モニターツアーが新型コロナウイルスの影響により中止となったものの、実現の確度は高く、総合的にA評価とした。このような試みが、長期の計画を要する滞在型観光資源の開発に至る一歩となることを期待する。
東北農政局	秋田県	仙北市	一般社団法人仙北市農山村体験推進協議会		●	■			A	取組状況・実績・体制全てで目標を達成しており評価としてはAになっているが、実質的な取組の段階としては、ようやくその入り口に立っているところと見られる。それは、自分たちの地域の発展のために互いに協力し合う体制がようやく生まれ始動が始まったところという印象をもつ。今回の取組の実績を活かし、地域の中で何をなすべきかを協力し合って今後の発展に結びつけていく実践的活動に期待したい
東北農政局	秋田県	三種町	三種町農泊推進協議会			●	□		B	1年目は実施体制構築や体験プログラム開発に時間を費やし、さらには新型コロナウイルスの影響があったため実績は上がっていない状態であるため、総合でB評価ではある。時間をかけて合意を形成してきた地域体験プログラム・農泊やその実施体制を活かして、2年名以降の実績が出ることに期待をしたい。
東北農政局	秋田県	八峰町	NPO法人ミチのクニ手這坂		●	■			A	行政主導による単発の取り組みでは持続的な取り組みが望めなかったところを民間の団体等の協力により取り組む方向に持って行けたことは評価に値する。その結果として取組状況・実績・体制全てで目標を達成している。体験ツアー等の取組により、宿泊者数が目標を大幅に上回る状況。組織の発展も図られ、今後の更なる発展に期待したい。
東北農政局	秋田県	羽後町	田代村体験協議会		●	■			A	鎌鼬の里芸術祭など地域コンテンツを活かし、そのような活動が地域の収入源になっており、農泊の実施やこれから農泊に参加しようとする者がいることは評価できる。特にインバウンド向け商品販売が成功し、インバウンド客の増加は、それだけの魅力のあるものをもった地域であることとして評価できる。次年度の展開に期待したい。

注1:「事業実施段階」の凡例

ソフト対策 ○・・交付対象年度(計画) ●・・交付対象年度(実施済) □・・目標年度(計画) ■・・目標年度(実施済)

ハード対策 ☆・・交付対象年度(計画) ★・・交付対象年度(実施済) ◇・・目標年度(計画) ◆・・目標年度(実施済)

注2:「評価」の区分: A・・優良 B・・良好 C・・低調

令和元年度 農山漁村振興交付金(農泊推進対策)事業実施主体 評価一覧

【農泊推進対策(農泊地域高度化促進事業を除く)】 51件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階					評価	評 価 コ メ ン ト
				H29	H30	R1	R2	R3		
東北農政局	山形県	米沢市	オール米沢食文化推進協議会		●	■			B	売上目標に対して、旅行商品の販売時期とコロナウイルス感染症の拡大時期が重なったため低調となったが、それ以外の取り組みはある程度の実績を確保できている。今一度関係者が課題を共有、精査することが必要と考える。ウィズコロナを踏まえた取り組みの推進に期待したい。
東北農政局	山形県	鶴岡市	出羽三山門前町プロジェクト			●	□		B	目標として掲げられたことについての取組・実績・体制はおおむね評価できる。また、出羽三山の価値を食・泊・体験で提供する事業内容のうち、長期滞在型、インバウンド向け体験プログラムにより泊・体験は目標を達成しているが、一方、食の開発・提供は令和2年度に本格実施ということで令和元年度は低調であった。地元の農業・農産品との連携をはかるなど、本事業の地元との連携に基づく展開に期待したい。 また、現在事業実施は任意団体の地域協議会「出羽三山門前町プロジェクト」が中心になって行っているが、将来的には地域マーケティング会社の設立に至るといふ。今回の取組が恒常的な組織となって継続的に実施できる見込みがあることについては大いに期待したい。
東北農政局	山形県	酒田市	とびしま渚泊協議会		●	■			A	売り上げ・宿泊数等の事業実績目標は達成し、実施体制においても行政と地域主要団体とが効果的に協力できていることが窺える。今後は地域に農泊が波及し、交流力の強化につながるよう、実績の更なる上積み期待したい。
東北農政局	山形県	天童市	天童市観光果樹園連絡協議会		●	■			A	取組状況・実績・体制全てでA評価とした。事業の関係者や宿泊業者等がしっかり連携し、展開した成果と考える。天童に農泊が広く波及し、交流力の強化につながるよう、今後も更なる発展に期待したい。
東北農政局	山形県	西川町	西川町農泊推進協議会			■	◆		A	計画に基づく取組が十分に実施され成果もあがっており、実施体制も整備されていることから評価をAとした。今後は整備された施設(平成29年度完了)を核とし、観光資源の発掘、磨き上げを行い、農泊事業の更なる発展に期待したい。
東北農政局	山形県	戸沢村	特定非営利活動法人田舎体験塾つのかわの里		●	■			A	コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、期間の最後に実績の確保ができない状況であったが、このことがなければそれなりの結果を残せたものと思料する。このことは事業の方向性、今年度の取組や体制というものが、実質作用して成果を上げているものと考えられる。今後の展開に期待したい。
東北農政局	山形県	小国町	小国町農泊推進協議会			●	□		B	町での農泊事業への機運及びインバウンド観光への理解をはかり、小国町の豊かな自然環境、食文化を活かしてインバウンド、モニターツアー等進めてきたところであるが、年度終盤の新型コロナウイルスの影響により、実施出来ない取組もでてきた。しかしながら、ほぼ目標を見据えた成果が得られたものと思料。事業2年目はウィズコロナを踏まえた取組の推進に期待したい。
東北農政局	山形県	白鷹町	白鷹町広域まちづくり協議会			● ★	□		A	総合でA評価ではあるが、令和元年度の2次公募での採択であり、実施期間が短いことから実績は上がっていない。 取組状況と実施体制はA評価であるが、実質的には評価なしと思料する。白鷹町に農泊が広く波及し、交流力の強化につながるよう、令和2年度の取り組みを注視していきたい。

注1:「事業実施段階」の凡例

ソフト対策 ○・・・交付対象年度(計画) ●・・・交付対象年度(実施済) □・・・目標年度(計画) ■・・・目標年度(実施済)

ハード対策 ☆・・・交付対象年度(計画) ★・・・交付対象年度(実施済) ◇・・・目標年度(計画) ◆・・・目標年度(実施済)

注2:「評価」の区分: A・・・優良 B・・・良好 C・・・低調

令和元年度 農山漁村振興交付金(農泊推進対策)事業実施主体 評価一覧

【農泊推進対策(農泊地域高度化促進事業を除く)】 51件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階					評価	評価コメント
				H29	H30	R1	R2	R3		
東北農政局	福島県	郡山市	逢瀬いなか体験交流協議会			●	□		B	これまでの方針を変えて取組自体として経済的に維持存立できる、ビジネスとしての農泊を確立するという目標には注目したい。そしてJTBとの連携やホームページの英訳など、外に向けての積極的な情報発信を行い成果が出ている。令和元年度は、コロナウイルスの影響により取り組みなかった事業や宿泊実績の低調さに影響が出ているものの、1年目の取り組みとしては評価できる。令和2年度の取り組みを通じて更なる発展に期待するところ。
東北農政局	福島県	天栄村	天栄村ふるさと子ども夢学校推進協議会			●	□		A	取組状況・実績・体制全てで目標を達成しているが、とりわけ令和2年度はオートキャンプの世界大会であるFICCラリーがあり、その中で地元のでんえい商工祭が開催されるなど、農泊や観光の機会が多くあったこともあって、当初の目標を大幅に上回っている。このような状況も受けて、今後も更なる発展に期待したい。
東北農政局	福島県	西会津町	西会津農泊ビジネス推進協議会			■	◆		A	施設整備事業(平成29年度完了)による目標は全て達成されており、施設のメディア露出等により事業と地域ブランドが広く認知され、地域雇用が生まれるとともに、農泊に積極的な農家も漸次増えるなど、全体として好循環が生まれてきている。今後の展開に期待がもてる。
東北農政局	福島県	三島町	奥会津三島ブランドPR推進協議会			●	□		A	取組状況・実績・体制全てで目標を達成している。食の商品開発、インバウンド対応等、コロナウイルスの影響のない令和2年1月迄に良好な成果を挙げている状況。農泊が地域に広く波及し、交流力の強化につながるよう関係者が課題を共有し、精査することが大事と考える。事業2年目はウイズコロナを踏まえた取組の推進に期待したい。
東北農政局	福島県	塙町	はなわ農泊交流協議会			●	■		A	取組状況・実績・体制全てで目標を達成している。食体験、農体験、自然体験等、多岐にわたる取組を行ったこと、多方面の組織との連携も図られていることを評価。地域に農泊が広く波及し、交流力の強化につながるよう、今後の更なる発展に期待したい。
東北農政局	福島県	石川町	石川町農泊推進協議会			●	□		A	1年目の取り組みではあるが、事業の目的、目標に向けて展開された様子が窺える。石川町に農泊が広く波及し、交流力の強化につながるよう、2年目の事業充実に期待したい。
東北農政局	福島県	川内村	川内村のんびり里山暮らし協議会			●	■		A	全ての目標が100%以上の達成となっており、内容・体制も含めて何ら問題はないと料する。今後は今回得られたネットワークや人材それに組織と活かして、長期的な事業として観光を維持・定着できるよう、そうした取り組みに力を注いでくれる人材の育成が求められるだろう。今後の発展に期待をしたいところである。
東北農政局	福島県	飯舘村	飯舘村佐須行政区地域活性化協議会			●	■		A	前年度完了した整備施設に関連した取組であるが、一定の成果を挙げていることを評価したい。改めて地域資源の発掘、磨き上げ等を行い、継続して取り組むことにより地域の交流力の強化につながるよう期待したい。

注1:「事業実施段階」の凡例

ソフト対策 ○・・交付対象年度(計画) ●・・交付対象年度(実施済) □・・目標年度(計画) ■・・目標年度(実施済)

ハード対策 ☆・・交付対象年度(計画) ★・・交付対象年度(実施済) ◇・・目標年度(計画) ◆・・目標年度(実施済)

注2:「評価」の区分: A・・優良 B・・良好 C・・低調

令和元年度 農山漁村振興交付金(農泊推進対策)事業実施主体 評価一覧

【農泊推進対策(農泊地域高度化促進事業)】6件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階					評価	評 価 コ メ ン ト
				H29	H30	R1	R2	R3		
東北農政局	青森県	鱒ヶ沢町	鱒ヶ沢白神グリーンツーリズム推進協議会			● ■			B	インバウンド対応として洋式トイレの改修、情報環境整備を行ったが、新型コロナウイルスの影響により予約していた外国人来訪客のキャンセルが多数あったことは残念。取組を継続し、しっかり対応するために事業実施のメンバーが域内の方々と連携を深め対応することが大事と考える。今後の活動に期待する。
東北農政局	岩手県	遠野市	遠野ふるさと体験協議会			● ■			A	インバウンド対応に特化した当地での高度化促進事業は、隣市がラグビーW杯会場といった好影響を活かし、外国人向け体験メニューの開発を行い、外国人への売上や宿泊の目標を達成している。本事業の関係者がしっかり連携を図り、対応していることが窺える。更なる展開に期待したい。
東北農政局	岩手県	平泉町 一関市	平泉一関エリア農泊推進協議会			● ■			A	通過型の観光地を宿泊型に変え、また海外からのインバウンド対応に特化した取組として、外国人のエリア通過型観光を課題に挙げ、環境整備を行ったことを評価。一部新型コロナウイルスの影響による計画未実施があったが、おおむね良好な実績と判断できる。また当地域においてこの取組に参加する人たちの多くがシニア層であった者に対し本事業の取組により20代から30代の農業者等が参加するようになり農泊の持続性がしっかりしたものになったことは評価したい。
東北農政局	宮城県	石巻市	雄勝町渚泊推進協議会			● ■			B	インバウンド対応、情報環境整備に必要な取組について必ずしも全部を達成できたわけではない。しかしながら、これらは今後の地域の展開について不可欠なものであり、高度化促進の残事業については、自己資金により令和2年度対応することとしているという。今後の成果に期待したい。
東北農政局	秋田県	湯沢市	秋ノ宮地域都市農村共生対流推進協議会			● ■			B	実施期間において売り上げと宿泊数の実績が目標値に到達しなかった。地域主要団体及び行政・観光関連団体との連携体制は整いつつあるので、今一度、関係者が目的と課題を共有し、精査することが重要と考える。農泊が地域に広く波及し、交流力の強化につながるよう、今後の売り上げ・宿泊者数等の改善に期待したい。
東北農政局	秋田県	藤里町	ふじさと粕毛まちづくり協議会			● ■			B	総合でB評価ではあるが、売り上げ・宿泊者数ともに目標に到達していない。インバウンド受け入れ体制については整いつつあるので、関係者が課題を共有、精査して、売り上げ・宿泊者数等の改善に期待したい。

(注1)「事業実施段階」の凡例:●・・・交付対象年度(実施済) ■・・・目標年度(実施済)

(注2)「評価」の区分: A・・・優良 B・・・良好 C・・・低調